

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	三和地域活性化事業			事業コード	130312		
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充		
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132		
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所		所属長	井上浩人		
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料			
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	三和荘等施設管理運営事業、三和地域交流拠点施設整備事業、三和支所施設管理事業						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和ふれあいフェスティバルは、三和地域最大のイベントとして地元団体等で構成される実行委員会が企画、運営し、住民が主体的に参加する手作りイベントである。屋外模擬店や農林産物品評会・販売のほか、作品展、舞台発表など生涯学習の発表の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させるイベントとなっており、また、三和地域の取り組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。						
対象者	三和地域の市民及び一般参加者		対象者数	4,500	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	三和ふれあいフェスティバル実行委員会						
事業概要 (箇条書き)	・地域主体のイベントである「三和ふれあいフェスティバル」及び「みわ夏まつり」に対する助成。 ・運営は実行委員会で行い、対象経費の1/2を市の補助金を交付する(令和3年度新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止のため未実施)。 ・地域の活性化のため三和地域協議会を中心に、住民が主体のイベントとして実施する(令和3年度新型コロナウイルス感染症対策によるイベント中止のため未実施)。 ・1年間の活動の発表の場として子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と地域力を高揚させる場として定着している重要なイベントである。						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	0	新型コロナウイルス感染症の影響で「三和ふれあいフェスティバル」と「みわ夏まつり」が中止となった。				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	950	1,050	1,050		
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①～③)	950	1,050	1,050	予算編成時記入 (3次公表時)		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0	
	② 国支出金	0	0		0	
	③ 府支出金	0	0		0	
	④ 地方債	0	0		0	
	⑤ その他特財	950	1,050		1,050	
決算情報	① 流充用額	0	△ 1,050			
	② 配当予算	950	0			
	③ 執行額	0	0			
	④ 執行率	0.0%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.17 / 0.05	0.16 / 0.05	0.16 / 0.05		
	② 概算人件費	1,485	1,405	1,405		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,485	1,405	1,405	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	来場者数	人	4000 / 4500	中止 / 4500	中止 / 4500	/ 4500	4500
	延べ参加団体数	団体	68 / 65	中止 / 65	中止 / 65	/ 65	65
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	実行委員会開催回数	回	9 / 9	2 / 9	1 / 9	/ 5	
	単位あたりコスト		102.6	0.0	0.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月14日開催予定のみわ夏まつりについては、令和3年4月26日の幹事会において、地域の活性化と交流につながる重要なイベントであると認識しているが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、中止の判断となった。 令和3年11月13日、14日開催予定の三和ふれあいフェスティバルについては、子どもから高齢者まで幅広い参加があり、文化的活動の発表の場として、また自主運営による手作りのイベントとして、地域の活性化と交流につながる重要なものとして認識しているが、令和3年7月28日の実行委員会では中止が承認された。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> みわ夏まつりにおいて、今後のあり方などについて、令和3年8月31日、令和3年12月14日に幹事会を開催して検討を行った。 三和ふれあいフェスティバルにおいて、三和地域の活性化に大きな影響をもたらすイベントであるため、開催することを前提に、令和3年7月19日の幹事会において福知山市主催イベント等ガイドラインにそった形で実行を検討したが、三和ふれあいフェスティバルのイベント内容の性質上、困難と判断された。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域の人口が減少するなかで、農産物の品評会、文化活動の発表の場を提供するもので、令和3年度に開催した幹事会、実行委員会では、これまでと同様の来場者を達成すべく、駐車場の課題や役員などの課題などに取り組まれている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加団体は年々増加しているが、このことは、当地域が人口減、高齢化が進行する中で模擬店の出店、文化活動の発表の場を求める人やグループが増えていることであり、日ごろ文化活動を行う住民の増加や活動内容の多様化の受け皿として、また、地域の自主運営を基底にした参加型イベントとして定着してきたものと評価している。 令和2年度、令和3年度は、「三和ふれあいフェスティバル」と「みわ夏まつり」とも新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止した。 令和2年度、令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことによる、環境や人員の変化の影響が懸念される。 将来的に人口の減少、高齢化の進行が予想されることから、自治組織や団体の弱体化、人材不足に伴うイベントそのものの存続が危惧される。 駐車場として活用していた「アネックス京都三和の区画」が売買され、新たな駐車場が必要である。 本イベントが地域の活性化に繋げられるよう意識し、地域自体が主体性を持って運営する持続可能な身の丈に合った内容を検討していく必要がある。 三和ふれあいフェスティバルは、三和地域外からも多数の参加がある三和地域における最大のイベントである。住民が主体のイベントで、地元団体等で構成される実行委員会が運営する。事務局は三和地域協議会。昭和40年代の三和町時代の農林業祭からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び農林産物品評会・販売、各種啓発の場となっている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> みわ夏まつりは、三和地域の拠点施設である三和荘を中心としてステージイベントやビンゴゲーム大会、鉄道模型電動カーこども乗車会、夜店、花火大会を行い地域住民の交流を図っていたが、令和4年度において廃止した。 三和ふれあいフェスティバルについては、実行委員会を中心に地域住民に対し、地域交流のための最も重要なイベントであることを認識していたが、住民などから協賛金を募るなど、住民が一丸となって守り、作り上げるイベントとして存続を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域振興センター管理事業			事業コード	130205		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充		
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132		
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所		所属長	神内 明宏		
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	82 頁		
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。						
対象者	大江駅利用者		対象者数	23,679	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	大江観光(株) アムス・セキュリティサービス(株) オニテック						
事業概要 (箇条書き)	・地域振興センター施設内の警備を業務委託により実施する。 ・地域振興センター施設内の清掃、周辺の除草を業務委託により実施する。 ・地域振興センターの光熱水費を支出し、施設の機能を維持する。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	863	光熱水費(電気料、上下水道料) 施設修繕料(トイレ修繕)				
	役務費	58	手数料(ゴミ処理手数料) 保険料(建物共済分担金)				
	委託料	832	維持管理業務(警備業務 施設清掃業務 施設維持管理業務)				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,782	1,803	1,835	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	1,782	1,803	1,835					
予算財源内訳	① 一般財源	1,225	1,266	1,325				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	557	537	510				
決算情報	① 流充用額	143	0					
	② 配当予算	1,925	1,803					
	③ 執行額	1,799	1,752					
	④ 執行率	93.5%	97.2%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21 / 0.00	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,680	800	800	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,479	2,552	800	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機設置貸付収入(大江支所)	種類	財産貸付収入	実績金額	222	34	頁
		大江町地域振興センター		雑入		25	44	
		地域振興センター占有者負担金		雑入		278	48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		大江駅周辺イベント回数	回	2 / 3	1 / 3	0 / 3	/ 3	3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
		大江駅乗降者数	人	29630 / 50000	29184 / 50000	23679 / 50000	/ 50000	50000
		単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設であり、大江観光(株)及び福知山市商工会の業務により、大江地域を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できるのに、施設を維持管理する水道代、電気代等の費用として支出したため、必要性が高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	施設を維持管理する水道代、電気代等の費用を大江観光(株)及び福知山市商工会に占有割合に応じた施設管理費を負担していただいているため、効率的に事業が実施されている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設を良好な環境に保つことで、好印象を与え、大江駅の利用者や観光客が増加し、大江地域の観光等の産業の発展につながることを期待できるため有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	大江地域を訪れる方々に、きめ細やかな対応ができていることから、現在の事業規模で継続的に実施する。当施設は、京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設である。関係課及び関係団体と連携し、大江地域の玄関口としての賑わいの創出と京都丹後鉄道の利用を増加させる施策が必要である。		
改善策	まずは新型コロナにより、中止になったイベントの再開することが改善策の一歩と考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ホームページ運営事業			事業コード	820107						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132						
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課		所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費	会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第6次福知山市行政改革実施計画		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広くPRする。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全な暮らしを確保する。										
対象者	市民・不特定多数の人々			対象者数	-			単位あたりコスト			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福泉(株)										
事業概要 (箇条書き)	・各担当課によるホームページの更新 ・新型コロナウイルス感染症関連情報の迅速・適切な発信 ・LINE、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターによる情報発信										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	役員費	73	SNS更新用タブレットの通信費								
	委託料	781	ホームページ運営保守管理業務								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	836	1,054	1,155	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	836	1,054	1,155						
予算財源内訳	① 一般財源	119	359	435					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	717	695	720					
決算情報	① 流充用額	18	0						
	② 配当予算	854	1,054						
	③ 執行額	854	854						
	④ 執行率	100.0%	81.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.56 / 0.00	0.51 / 0.00	0.51 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	4,480	4,080	4,080	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,334	4,934	4,080	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ホームページ広告料	種類	雑入	実績金額	380	決算付属資料	44	頁
		ホームページ保守業務負担金		雑入		62		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		アクセス件数(月平均)	件	131565 / 80000	361504 / 80000	445922 / 150000	/ 150000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	掲載件数	件	2115 / 900	2606 / 900	2546 / 900	/ 900	900
	単位あたりコスト		0.4	0.3	0.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市の情報・魅力を全国発信した。 災害発生など緊急時には、迅速、的確に情報を市民に伝えた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	専門的な保守点検管理業務を委託することで、システム障害の回避や常時の動作確認、新コンテンツの作成にかかる人件費を抑制した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	各所属がホームページを更新する運営体制により、タイムリーに市政情報を広く発信した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。令和元年度において、各担当課がホームページを作成し、秘書広報課で管理等を行いながら、的確な情報発信に努めている。また、ホームページリニューアル時に、議会事務局、市民病院、上下水道部のHPを市HPに統合、さらに令和元年度において消防のHPを統合することで、経費の削減を図った。令和3年度においても、新型コロナウイルス関連情報など市民が求める情報をホームページを中心に各SNSも活用し、迅速、的確に発信することができた。課題は、全職員がホームページの更新をはじめとする効果的な広報のタイミングを理解することが求められる。		
改善策	インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく、分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要であることから、市職員全てが情報発信者である意識を持ち、効果的に情報発信するために、職員PR研修等により継続的に学ぶ機会を設ける。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	姉妹都市交流促進事業			事業コード	130112		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充		
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132		
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課		所属長	濱田 亜希子		
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	90 頁		
計画期間	開始年度	昭和58年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名		
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	島原市と行政間だけでなく、市民ぐるみで、人・物・文化などの交流を促進し、相互理解や友好の絆を深める						
対象者	福知山市民 島原市民	対象者数	120,508	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	「提携記念日行事(巡回パネル展・クイズ企画等)」の実施 福知山マラソン会場やスイーツフェスティバル等イベントでの島原物産展の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったため実施できなかった						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	48	PPC用紙ほか				
	役務費	9	パネル運搬料				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	197	184	182					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	197	184	182	予算編成時記入 (3次公表時)					
予算財源内訳	① 一般財源	197	184		182				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	197	184						
	③ 執行額	39	57						
	④ 執行率	19.8%	31.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.11 / 0.00	0.10 / 0.00	0.10 / 0.00					
	② 概算人件費	880	800	800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	919	857	800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	物産展来場者	人	3000 / 3000	0 / 3000	0 / 3000	/ 3000	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	物産展等の開催	回	3 / 5	0 / 2	0 / 2	/ 5	5
	単位あたりコスト		32.6	0.0			
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	昭和58年3月に結んだ姉妹都市提携に基づき、相互理解や交流を通じて友好を深めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	令和3年度のパネル展にあわせて、島原市と共同でクイズ企画を実施した。島原市と連携・協力をを行い、コスト削減をしている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和3年度の物産展は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかったが、実績により関心や認知度を測ることができる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展などイベントは実施できなかったが、姉妹都市提携に至った経過やこれまでの取組から生まれた絆を大切に、今後も継続した事業を行い友好を深めていく。 市民に姉妹都市島原市への愛着や友好の思いをもってもらえるよう、また福知山市の魅力を市内外から発信してもらえるような事業展開をする必要がある。 行政間だけでなく、市民も交流など通じて友好が深めていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年に姉妹都市提携40周年を迎える。島原市と連携し、広報誌などを活用して相互の魅力を発信する。 コロナ禍により交流する機会が少なくなっているが、40周年に向けて市民も参画した友好を深められるような取組を検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ふくちやまサポーター拡大事業			事業コード	810560		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充		
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132		
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課		所属長	濱田 亜希子		
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	90・92 頁		
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第6次行政改革実施計画	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	地方税法等						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	人口減少や都市圏への人口集中が加速するなか、市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくため、多様な形で関わっていただく方々(関係人口)を増やすことが重要となっている。そこで関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援してくださる方々の拡大を図る。						
対象者	市外居住者		対象者数	-		単位あたりコスト	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	(株)さとふる、楽天(株)、(株)トラストバンク、(株)アイモバイル						
事業概要 (箇条書き)	・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の募集 ・新規ふるさと納税返礼品事業者の獲得 ・新規返礼品の獲得 ・ふるさと納税サイトの追加 ・「いがいと！福知山ファンクラブ」会員への本市の魅力情報を情報発信(ダイレクトメールによる)						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	301	「いがいと！福知山ファンクラブ」会員証作成ほか				
	役員費	1,321	広告掲載、郵送料、電話料ほか				
	委託料	151,250	ふるさと納税業務委託分(サイト利用、返戻品調達、配送、受付、収納、受領証明書発行など)				
	積立金	327,037	基金積立金				
その他事務経費	128	複写機使用料、ふるさと納税返礼品(高額寄附者分)					

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	193,463	285,177	475,421					
	② 補正予算	178,450	216,945	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	371,913	502,122	475,421	予算編成時記入 (3次公表時)					
予算財源内訳	① 一般財源	117,605	184,788		158,646				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	254,308	317,334		316,775				
決算情報	① 流充用額	352	0						
	② 配当予算	372,265	502,122						
	③ 執行額	372,265	480,037						
	④ 執行率	100.0%	95.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.63 / 0.50	0.72 / 0.50		0.72 / 0.50	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	6,290	7,010		7,010	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	378,555	487,047	7,010		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ふるさと納税寄附金	種類		総務費指定寄附金	実績金額	317,036	36	頁
		ふくちやまサポーター拡大事業基金繰入			基金繰入金	297	297	40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	人	532 / 750	3011 / 1000	3208 / 3500	/ 0	3500
	ふるさと納税額目標達成率	%	133.2 / 100	201.3 / 100	166.9 / 100	/ 0	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ふるさと納税サイト活用件数	件	3 / 3	4 / 3	5 / 3	/ 0	3
	単位あたりコスト		77101.8	93066.3	96007.4		
	会員募集に関する情報提供回数	回	5 / 10	13 / 10	12 / 10	/ 0	10
	単位あたりコスト		46261.1	28635.8	40003.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>総務省によると、2020年度のふるさと納税での寄附額は前年度を4割上回る過去最高額の6,724億円となり、市民、社会のニーズが高いことが明確である。人口減少期に重要となる関係人口拡大に向けた取り組みとして、ふるさと納税制度も活用しながら、福知山を応援していただける「いがいと！福知山ファンクラブ」会員を増やすことは必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>多くの方々(令和3年度寄附件数:約18,000件)からの寄附に関連する事務(寄附収納、返礼品送付、寄附者窓口対応、返礼品提供事業者との連携など)を民間業者に業務委託した。また、ふるさと納税寄附者に「いがいと！福知山ファンクラブ」会員加入の案内をした。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>ふるさと納税で福知山に寄附いただいた方々(寄附件数:約18,000件)に、「いがいと！福知山ファンクラブ」入会案内を送付した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>ふるさと納税では、平成28年度に民間事業者(さとふる)の活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定数を確保できている。令和3年度では、新たにふるさと納税サイトを2サイト追加し、さらに寄附者がアクセスしやすい環境を整備するなどにより、過去最高の寄附額317,037千円を集めた。また、平成30年度からクラウドファンディング型ふるさと納税にも取り組んでいる。また、企業版ふるさと納税では、企業訪問等により、平成29・30年度で1社から、令和元年度で2社、令和2年度で1社、令和3年度で3社からの寄附実績があった。</p> <p>このようにふるさと納税を活用した、福知山を応援いただく方が増えたことにより、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員の増加にも繋がった。「いがいと！福知山ファンクラブ」会員について、令和元年度より新たに福知山の魅力が描かれたオリジナル会員証を発行している。令和3年度では、会員が3,331人と増加し、多くの方に福知山の魅力を発信し、良い関係構築に努めている。このように過去最高の寄附額を集めたこと、また、「いがいと！福知山ファンクラブ」会員が増加したことは、評価できる。</p> <p>課題としては、ふるさと納税制度に注力する自治体が増え、競争が激化しており、今まで以上に魅力的な返礼品を開発するなど取り組みの強化が求められている。</p>		
改善策	<p>ふるさと納税での自治体間競争に対応するため、新たな返礼品の開拓、定期便や体験型返礼品の開拓、また新たなサイト追加などにより寄附確保の体制を強化するとともに、継続的に福知山市を応援いただける関係人口の増加に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山PR戦略総合推進事業			事業コード	820134		
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充		
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132		
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課		所属長	濱田 亜希子		
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	92 頁		
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略 R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市の地域ブランドを高めて福知山ファンを増やし、関係人口(多様な形で関わる市外の人々)・交流人口の拡大と、市民のシビックプライドの醸成を図る。						
対象者	市民・不特定多数の人々		対象者数	—		単位あたりコスト	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	株式会社プラチナム、株式会社博報堂関西支社						
事業概要 (箇条書き)	◆明智光秀 ○光秀マインドVol.2 福知山城チャレンジ ○光秀マインドVol.3 光秀そっくりさん募集、福知山の変の準備 ○福知山城マインクラフト ○光秀ピクトグラム ○謀反ハガキふるさと納税追加 ○福知山城からの挑戦状 ○京都府域アートフェスティバルALTERNATIVE KYOTO(実行委員会に参加)など ◆鬼 ○動画「転生したら鬼退治を命じられました」 ○声優・小西克幸さんの「鬼ガイド」 ○クラウドファンディング型ふるさと納税 ○鬼鬼祭 ○グッズ開発 など ◆市役所・市全体 ○他課プレスリリース添削・配信 ○メディアアプローチ ○職員PR研修 ○防災企画 ○特別顧問の事業相談デー ○市内外での講演 ○市民・都市圏アンケート調査 など						
主な支出に係る 業務内容と経費			支出実績(R3)	主な業務内容			
	需用費		2,534	いがいとポロシャツ制作、シティプロモーションブック印刷、ほか			
	役員費		636	市民アンケートほか郵送料、電話代、手数料ほか			
	委託料		30,402	鬼文化PR事業業務委託、市政メディアリレーション & プロモーション業務委託、福知山城チャレンジ アイデア実施業務委託ほか			
	使用料及び賃借料		781	複写機使用料、駐車場利用料ほか			
その他事務経費		773	職員出張旅費、特別顧問報酬、備品購入費ほか				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	40,154	37,335	36,444				
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①～③)	40,154	37,335	36,444	予算編成時記入 (3次公表時)				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0		0			
	② 国支出金	19,338	12,500		17,218			
	③ 府支出金	0	0		0			
	④ 地方債	0	0		0			
	⑤ その他特財	20,816	24,835		19,226			
決算情報	① 流充用額	△ 300	0					
	② 配当予算	39,854	37,335					
	③ 執行額	39,574	35,126					
	④ 執行率	99.3%	94.1%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.35 / 0.40	3.00 / 0.40		3.00 / 0.40	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	11,800	25,000		25,000	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	51,374	60,126	25,000		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類		総務費国庫補助金	12,500	実績金額	16
		きょうと地域連携交付金			総務費府補助金	2,222		決算付属資料
		ふるさと納税基金繰入金		基金繰入金	19,830	40		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数	人	532 / 750	3011 / 1000	3208 / 3200	/ 3300	3700
mGAP市民の地域推奨意欲指数	%	-39.8 / —	— / —	-37.7 / —	/ -37		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	プレスリリース配信	件	22 / 10	42 / 10	40 / 18	/ 20	10
	単位あたりコスト		1264.4	942.2	878.2		
	メディア記事掲載件数	回	307 / 300	400 / 200	829 / 200	/ 200	200
単位あたりコスト		90.6	98.9	42.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> ○光秀マインドVol.2「福知山城チャレンジ」… 企画の募集、決定、実施まで、公募や全国投票など市民主導型で実施することで、市民や社会のニーズを反映させた。市の資産である福知山城を大々的に活用するため、民間が自ら実施しづらい事業である。また市内外の人が様々な形で関わる仕組みを作ったことにより、アウトカムの数値上昇にも寄与したと考えられる。 ○鬼文化PR事業 … 「鬼」に社会的関心が集まる絶好の機会に、市の資産である絵巻物を活用したアニメコンテンツを作成。鬼の資源を現代にアップデートした。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> ○光秀マインドVol.2「福知山城チャレンジ」… 実業家・前澤友作さんのふるさと納税500万円を活用した。(ふるさと納税基金繰入金) ○鬼文化PR事業/市政メディアリレーションズ&プロモーション業務 … 公募型プロポーザルにより、最も評価の高い事業者を選定した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> ○成果目標を変更 … 市外対象の指標は、まちづくり計画に設定されている「いがいと！福知山ファンクラブ市外会員数」。市内対象の指標は、シビックプライド醸成を定量化する指標mGAP(modified Gross Area Participation/修正地域参画総量指標)の一部項目。 ○年度途中でも「光秀そっくりさん募集」など柔軟に企画・発信したことで、プレスリリース配信は目標の2倍、メディア記事掲載数は4倍となった。 ○福知山城マインクラフト … 福知山公立大学と協働。学生など外部の優れた人的資源の活用が十分に行われた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>【自己評価】明智光秀主人公の大河ドラマ放送に伴う令和2年度までの重点テーマ「明智光秀」を深化させる「まちづくりの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動(光秀マインドプロジェクト)と、「鬼」「市役所・市全体のPR力向上」という新たなテーマとの三本柱により、施策成果指標に貢献している。</p> <p>アウトカム・アウトプットとも目標を達成したほか、以下のとおり様々な数値にて成果が現れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受賞 令和2年度～3年度の本事業での活動に対して、11アワードを受賞(令和4年7月現在)。全国広報コンクール2021 広報企画部門「特選・総務大臣賞」(全国1位)、第1回シティプロモーションアワード「金賞」など。 ○鬼や光秀のPR活動が、ネットを活用した発信の好例として、NHK京都・関西での特集や朝日新聞京都版の回線で紹介される。 ○アウトプット数値のほか、他部署のプレスリリース29件の添削・配信を行い、掲載数768件(転載含む)を記録。 ○Twitter, Instagram, YouTubeフォロワー数も順調に増加。 <p>【現状の課題】大河ドラマや鬼の社会現象が落ち着いていく中で、令和2年度まで行っていた「全国に発信してその評価を市内に還流させる」手法の難易度が高まっている。</p>		
改善策	<p>上記の状況下で、成果指標を伸ばしていくためには、実行可能な別の手段も取り入れていく必要がある。つまり「光秀マインドプロジェクト」など、市民をコアターゲットとして、市内からプロジェクトの協力者を増やし、その輪を同心円状に広げていくプロジェクトにも、更にリソースを割いていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		<p>予算編成に記入(3次公表時)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	大呂自然休養村管理事業			事業コード	220211						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	3 地域に参画する新たな担い手の拡充						
	施策名	2 関係人口としての福知山ファンの獲得		施策コード	132						
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課		所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	162	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例、同施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用することで施設の有効活用を図る。適切に施設を運営することにより、豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。										
対象者	施設利用者	対象者数	12,146	単位あたりコスト	1.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)丹波悠遊の森協会										
事業概要 (箇条書き)	指定管理者が持つ経営等の民間ノウハウを活用し、宿泊、グラウンドゴルフ、キャンプ等への集客を図り、効率的に施設の管理運営を行った。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	3,921	指定管理料								
	補償、補填及び賠償金	3,330	不可抗力によって発生した費用等の支援								
	工事請負費	660	浴室排水改修ほか工事								
	需用費	291	施設修繕料								
	役務費	93	建物総合共済基金分担金								

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,092	5,015	5,047	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	1,689	3,331	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	10,781	8,346	5,047						
予算財源内訳	① 一般財源	10,638	8,203	4,904					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	143	143	143					
決算情報	① 流充用額	270	0						
	② 配当予算	11,051	8,346						
	③ 執行額	11,000	8,295						
	④ 執行率	99.5%	99.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.83 / 0.00	1.10 / 0.00	1.10 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,640	8,800	8,800	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	17,640	17,095	8,800	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(農政課)	種類	農林使用料	実績金額	143	決算付属資料	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	1139 / 1680	1033 / 1760	725 / 1840	/ 1930	1930
	上記以外の施設利用者数	人	12959 / 12940	10584 / 13150	8902 / 14270	/ 15390	15390
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	施設開館日数	日	302 / 311	279 / 311	226 / 311	/ 311	311
	単位あたりコスト		53.9	39.4	36.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	農村地域へ都市住民を誘客し、地域の活性化を図るために必要な施設であることから、市が指定管理施設として民間の能力を活用し、サービスの向上や経費の削減等を図りつつ、安定的な運営を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	指定管理者制度を採り入れることで、民間ノウハウの活用による施設利用者の増加やコスト削減を図り、市の直営ではできない効率的な施設運営を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業等の影響を受け、計画通りの運営ができず施設利用者数は伸び悩んだものの、宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と複合して運営することで、施設利用者の増加が図られ、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大呂自然休養村センターは、豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図ることを目的としている。令和3年度の施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業やレストランの時間短縮営業の影響もあり、目標の利用者数を達成することができなかったが、こうした状況の中でも宿泊者の半数以上が市外からの利用者であったことから、事業の目的に沿った施設運営ができていた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊や宴会等に対する需要の落ち込みを受け、施設利用者数の増加を図る取組の検討が課題となっている。</p>		
改善策	<p>ウィズコロナ、アフターコロナにおける今後の施設運営について検討を行うとともに、サービス向上や経費削減等の取組の実施により施設利用者数の増加を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--